

【活動レポート】4/30 VOLAS 学習会「国際協力から地域づくりへ」



VOLAS 学習会
「国際協力から地域づくりへ
◎長野・安曇野」

【日時】4月30日(木)
【昼休み】5時 (同じ内容を2回開催)
【話す人】古田然さん、古田(伊風院)幸子さん
(本学外国語学部ヒンディー語専攻卒業生)

長野県安曇野市は、アイターン移住者が多い町と知られていますが、その安曇野市でりんご農家修行中のご夫婦が話すんです。本学在学中は、インド・コルカタで、インターンもされた経験をもつ古田然さん。
国際協力を学んでいたはずがなぜりんご？なぜ長野？卒業生だから聞けることもあると思います。お楽しみに！
ボランティア活動スペースVOLAS volas@tufs.ac.jp

——国際協力に関わりたいと思っていて、現地NGOについて農村へ行ったのだけど、農村をプラプラしている時に感じた、自分は援助する側ではなくて、当事者になりたい、という思い。いろいろ考えてみて、やっぱり自分は『人の役に立つ仕事がしたい！』という気持ちにたどり着くが、その時に気付く。人の役に立つ仕事は『国際協力の分野だけじゃないな...。』そして考えを進めるうちに、自分の地元で当事者として仕事に関わりたいと思うように——という話は、私に新しい発見を与えるものでした。人の役に立つ仕事は国際協力の仕事だけではない。これは外大生の盲点かもしれないと思います。『当事者になりたい』という気持ちはすごく理解できるのですが、そこから自分の地元、地域に根ざそうという考えはこれまでの自分の中にはありませんでした。たぶんそれは、「大学卒業後に中学の同級生と同じように仕事をするとしたら、今まで何のためにあんなに勉強してきたんだろう...」という気持ちがあったからだと思います。(同級生たちにはすごく失礼な話ですが...)しかし、『卒業後の進路には自分の思いによく耳を傾けてみる。自分が本当にやりたいことは何か。今学んでいるから、外大だから、という理由で進路を狭めるのはもったいない！』という話を聞き、その通りだなと思いました。今自分の中にある、「やってみたいこと」。親の意見もいろいろありそうですが、もう少し自分のやりたいことを追いかけてみたいと思いました。そして、『夢や目標は名詞じゃなくても、形容詞だったり、どんな暮らしがしたいのか、でもいいんじゃない？』という話は、心に留めておきたいなと思います。

また今の生活をすごく魅力的に、充実感満載で話す古田さんが大切にしていることは、『天岩戸方式』。人を呼び込むにはおいでおいでと外にアプローチするだけでなく、まずは内側にいる自分たちが楽しくやっていくこと。そうすれば外からは覗きたくなる。...これを聞いて、自分はすでにこの作戦に引っかかっているなと思いました笑。VOLAS 学習会では毎回様々な人と分野の話の話を聞けていて、感じる点は人によって色々だと思いますが、今回の学習会では、私にとっては自分の将来を見つめなおすといういい機会になりました。またこういった人との出会いや繋がりも大切にしていけたらなと思います。

(国際社会学部朝鮮語科2年 佐藤真希)

古田さんご夫妻が書いた「活動レポート」もご紹介します。

ブログ「りんご屋さん準備中！」<http://appleturtle27.naganoblog.jp/>

然さんのレポート <http://appleturtle27.naganoblog.jp/e1707705.html>

幸子さんのレポート <http://appleturtle27.naganoblog.jp/e1706995.html>

日時: 2015年05月13日